

図書館だより

88

こんな使い方も
できる！

新聞データベースを使った『誕生日新聞』イベントを開催しました

中央図書館でデータベースをもっと気軽に使っていただくため、夏休み自由研究おうえん企画「自分だけの誕生日新聞をつくろう！」を開催しました。夏休み期間中の毎週水曜日という短い間でしたが、多くの方にご参加いただきました。

「誕生日新聞」って？

新聞データベース[※]「朝日新聞クロスサーチ」を使い、生まれた日に発行された新聞や生まれた日のニュースを検索！ 気に入った記事を5枚までプリントアウトしてプレゼントしました。記事を「誕生日シート」に貼ったら、自分だけの誕生日新聞の完成です！

※朝日新聞クロスサーチ…明治12年の朝日新聞創刊号から今日までの記事・広告を検索できる新聞記事データベースです

図書館員もお手伝い！

写真がきれい！



懐かしいニュースがたくさん

たくさんあって迷っちゃう

全6回、合計40組60人の方にご参加いただきました！ 家族で生まれた日の話をしながら、楽しく記事を選ぶことができました。また大人の方だけの参加もあり、当時の番組表や求人広告欄に興味深くご覧になっていました。

データベース専用席の
詳細・利用可能データベース
一覧はこちら



新聞データベースは今日の新聞を見るだけでなく、今回のように日付で検索して昔の新聞を見たり、興味のあるキーワードで検索したり、様々な使い方ができます。中央図書館のデータベース専用席では、プリントアウト(有料)も可能です。ぜひいろいろな角度から利用してみてください！

図書館の裏側をのぞいてみたら…

令和4年8月19日(金)に、小学生を対象とした「バックヤードツアー」を実施しました。
中央図書館・ひばりが丘図書館のツアーの様子について、ご報告します！



普段、職員以外入れない書庫の中も見てもらいました！みんな興味津々♪

IN 中央図書館

(参加者:小学校1年生～3年生の親子・12組)

地下 閉架書庫



実際に手で本棚を動かします！

2階 地域資料室



昭和30年代の古い地図を見ながら…

地下 録音室



録音図書を作成するために防音になっている
録音室と機器を見学

✿参加された親子の感想✿

- ☆地下にはじめていったのが楽しかったです。しょこでハンドルを回したのがとくにおもしろいなと思いました。
- ☆本を録音しているのが面白かった。図書館をよく利用するので裏側を見ることができて良かった。
- ☆少人数の利用者に手厚くツアーを開催して頂き、とても充実した1時間でした。

IN ひばりが丘図書館

(参加者:小学校4年生～6年生・8名)

ブックポストのひみつ



おまけ(本にカバーをかけたよ)



書庫のひみつ



本日のツアーは終了！



図書館のひみつがわかったところで、

ハンディキャップサービスのひみつ

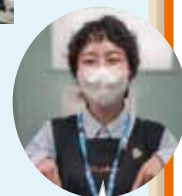


事務室のひみつ



✿参加してくれた子どもたちの感想✿

- ☆いつも様々な仕事をしていることが分かりました。これからもがんばってください！
- ☆これからも本をいっぱい読みたいのでもっと本が図書館にでてくるのが楽しみです。
- ☆初めてみたものばかりだったので、とても興味がわきました。
- ☆今日、本にカバーをつけてみて、一さつでもカバーするのが大変だったので、図書館の人はすごいと思いました。
- ☆今後もこのようなイベントにさん加したいです。
- ☆またこのひばりが丘図書館に来ようと思います。



これからも図書館を
たくさん利用してね！

＜子どものための地域を知る講演会報告＞ 令和4年8月21日 田無公民館 視聴覚室にて

「農民とサムライのあいだー江戸時代の暮らしと田無村名主・下田半兵衛ー」

講師 ぎょうだ たけあき 行田 健晃さん 成蹊中学・高等学校 専任教諭（社会科／日本史）
西東京市文化財保護審議会委員
歴史学会 理事

コロナ禍で3年ぶりとなった＜子どものための地域を知る講演会＞。行田先生を「案内役」に、図書館で所蔵する当時の村の記録を見ながら、江戸時代の田無村の人々の暮らしについて学びました。「古文書をひらいて初めて、当時を生きた人々の『声』を聴くことができる」という先生からのメッセージがとても印象的でした。

講演会終了後、行田先生から講演会の内容をまとめた文章をいただきました。図書館HPに掲載していますので、ぜひご一読ください。



行田先生からの
文章はこちら



＜西東京市図書館講演会報告＞ 令和4年8月7日(日) 柳沢公民館 視聴覚室にて

「安野光雅の絵本作りの原点を探る
ー書誌学的な観点から、絵本成立に至るまでの着想のルーツを探るー」

講師 おおぬき しんじゅ 大貫 伸樹さん 市内在住・装丁家

西東京市在住の装丁家である大貫伸樹さんを講師にお招きし、安野光雅の絵本作りのルーツを探る講演会を行いました。当日は、大貫氏所蔵の貴重な資料をご覧いただきながら、安野が絵本作りで目指したものはなんだったのか、参加者の皆さまがそれぞれ思索巡らすひとときになったのではないのでしょうか。

図書館ホームページでは、質疑の時間にいただいたご質問への回答も掲載しております。ぜひご覧ください。



質疑応答の
全文はこちら



オンライン講演会「どう読む？新聞 読み方のススメ ～SNS 時代にあえて読む 3 つの理由～」を開催しました

令和4年9月3日(土) Zoomによるオンライン開催

講師：^{おくの}奥野 ^{あや}斐さん(東京新聞記者)

SNS を通じて誰もが気軽に情報を発信できる世の中において「新聞」というメディアとどう付き合っていったらよいかのヒントを、現役記者である奥野さんにうかがいました。新聞ができるまでの映像や、実際の紙面を用いた具体的な解説には、参加者の方からも「新聞の新たな見方を発見できてためになった」「新聞は堅いイメージがあったが、話を聞いて読んでみたいと思った」などの感想が寄せられました。市内図書館の新聞コーナーには、全国紙のほかに専門紙も用意しています。また新聞データベースもございます(p.1 QR コード参照)ので、ぜひご活用ください！

新聞所蔵一覧は
こちら



※認知症サポーター養成講座 共同開催しました

令和4年9月16日(金) 柳沢図書館

自分らしいセカンドライフを応援する「シニアコーナー」がある柳沢図書館で、認知症サポーター養成講座を高齢者支援課と共同開催しました。新町包括支援センターの方が講師となって、テキストと映像で認知症についての正しい知識を学びました。フリートークの時間には、参加者自身の介護経験や抱えるご不安について話される場面もありました。

講座の最後には図書館から、認知症理解の手助けとなるブックリストを紹介しました。

※認知症サポーターとは？

認知症について正しく理解し、当事者とその家族を応援する人

当日配布の
ブックリストはこちら



講習会「経済情報を見る・調べる！ ～経済情報データベース日経テレコンの使い方～」を開催しました

令和4年10月21日(金) 中央図書館

データベース専用席がある中央図書館で「日経テレコン」の講習会を行いました。日経メディアマーケティングの方を講師に、「日経テレコン」を使っの経済情報の読み方、企業情報の検索方法を学びました。最後は実際に日経テレコンを使い、新聞記事や企業の検索を行いました。普段、日本経済新聞を読んでいる方も、データベースならではの使い方に興味を持っていました。

※日経テレコンとは？

「日本経済新聞」「日経産業新聞」の記事をはじめ、企業情報、人事情報などを収録しているデータベースです。中央図書館のデータベース専用席・保谷駅前図書館にて無料で利用できます



図書の展示を行いました！

一般書の担当では、毎年3回「全館統一展示」を企画・実施しています。それに加え、今年度は市の事業に合わせた共催展示も行いました。その様子を紹介します。

<全館統一展示>

怪 異

令和4年7月1日～8月31日

人ならざる者や伝説や伝承…現実で起こりえない不思議なこと。怖いけれどなんだか惹かれてしまう、思わず見ずにはいられない、そんな古今東西の「怪異」を集めて展示しました。暑い夏にぴったりの怪談話に、大勢の方が興味を向けてくださいました。



<全館統一展示>

知られざる文学賞

令和4年10月1日～11月30日

芥川賞や直木賞など有名な文学賞はあえて外し、ちょっぴりマイナーな文学賞を集めてみました。マイナーではあるものの、受賞作品というお墨付きのある作品ばかり！

この機会に普段は手に取らない作家の作品を読んでみるなど、読書の幅を広げるきっかけになればと思います。



<健康課「自殺予防対策キャンペーン」との共催展示>

こころのリフレッシュ

令和4年8月16日～9月19日 全館にて実施

睡眠や運動、旅行や美味しいもの…疲れたときのリフレッシュ方法に関連する資料を展示しました。「病は気から」と言います。皆さんご自身に合うリフレッシュ方法を探して資料を手にとられていました。



<高齢者支援課「認知症を知るキャンペーン」との共催展示>

認知症をもっと知ろう！

令和4年9月1日～9月30日

中央図書館、保谷駅前図書館、谷戸図書館にて実施

認知症は誰もがなりうる病気です。「認知症を知るキャンペーン」の一環として行った今回の展示では、認知症に関する書籍だけでなく市内で活動する認知症関連の団体も紹介しました。お一人やご家族だけで悩むことなく、社会的支援へと繋がる入口になればと思います。





私のお気に入りの場所「カラフル鉄棒」

東小学校 6年

千葉県田舎町で子ども時代を過ごし、山や畦道で遊んでばかりいました。学生時代も本を読むことは少なく、今ではとても後悔しています。

平成元年から西東京市（旧保谷市）に住み、子どもが幼稚園に入った頃、本を読んであげたいと思い、近くの柳沢図書館に行くのですが、たくさん本を前にどれを選んだらいいかと迷うばかり。図書館発行の冊子「ようこそ！えほんのせかいへ」「ドキドキわくわく」を頼りに探し、すぐに見つけれない時は、図書館員さんに聞きました。すぐに案内してくださり、とても助かりました。

長男が入学した小学校に子どもの本を勉強するPTAサークルがあり、各クラスで読み聞かせや昔話などのおはなしを語る活動もしていました。友人が誘ってくれて、そこでも

色々な本と出会い、図書館に通うことも増えました。しばらくして「おはなし」を語ることに興味を持ちはじめた頃、市報でおはなしの語り手養成講座を見つけて受講。その後「もぐらの会」に所属しておはなしを勉強しながら、市内の保育園・児童館・図書館などでおはなしや読み聞かせをさせていただくようになりました。

図書館でのおはなし会には、お子さんと保護者の方が一緒に参加してくださることが多く、私も子どもたちと一緒に来たかったなと、うらやましく思います。おはなし会の後、小さいお子さんが、好きな本を選んでいる様子は、とてもほほえましく、いつも温かい気持ちになります。これからも、おはなしの活動や、まだ手にとっていない本に出会うため、長く図書館に通いたいです。

利用者エッセイ

わたしと図書館

櫻井 由美子